

特定非営利活動法人 みんなで子育てドロップス

令和5年度総合事業報告書

令和6年6月（2024年6月）

はじめに

前理事長の牧野さんが退任し、私が理事長を拝任してから1年が経った。

コロナがようやく終結したとは言え、世の中の混乱度はますます加速している。長引く円安によって庶民の生活は厳しさを増し、そのツケが子育て世代の日常生活を圧迫している。また、混沌としている政治の世界から生まれた子ども家庭庁が起動し始め、様々な補助金が飛び交うという状況も生まれている。

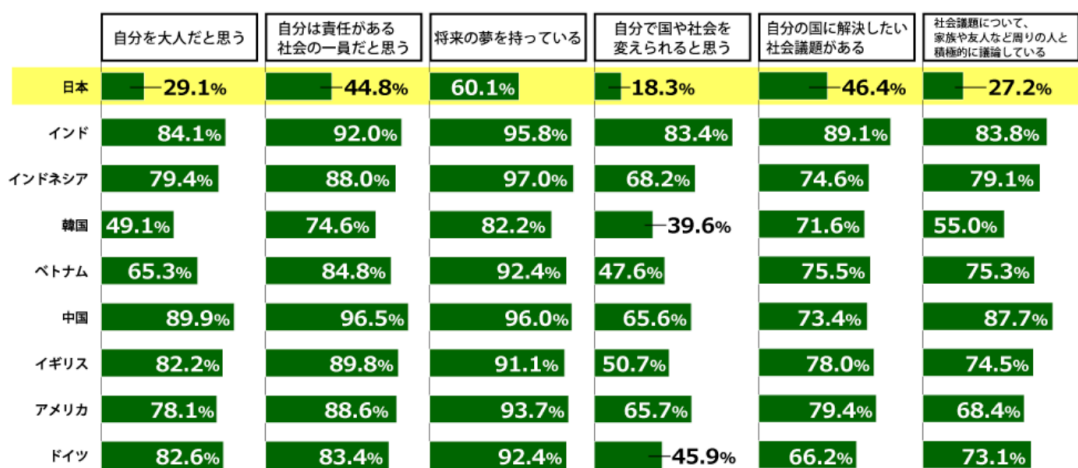
恵那市では、当法人発足当時に400人を超えていた年間出生数が155人まで減少するという、異常とも思える出生率の低下が官民ともに最大の問題と認識されている。これは恵那市に限ったことではないとは言え、抜本的な対策がない限り解決不能な課題であるとともに、より根本的な原因究明が必要であろう。

ここに示すチャートは、日本財団が世界の9カ国の18歳を対象に行ったアンケート調査の結果である（2019年発表）。これによれば、日本の18歳は、他国の18歳に比べてあまりにも希望がない。そのような社会を作ってしまったのは我々大人であり、責任を自ら追求することが肝要である。政策決定層である中高年層には、未だに高度成長期を忘れようとなしな的外れなマインドを持つものも多い。この世代は、現在の世界的混迷から「逃げ切れる」と思っている者が多いようだ。確かに逃げ切れるかも知れないが、子や孫の世代はどうなるのか、後の世代に負の遺産を残すことは絶対に許されない。

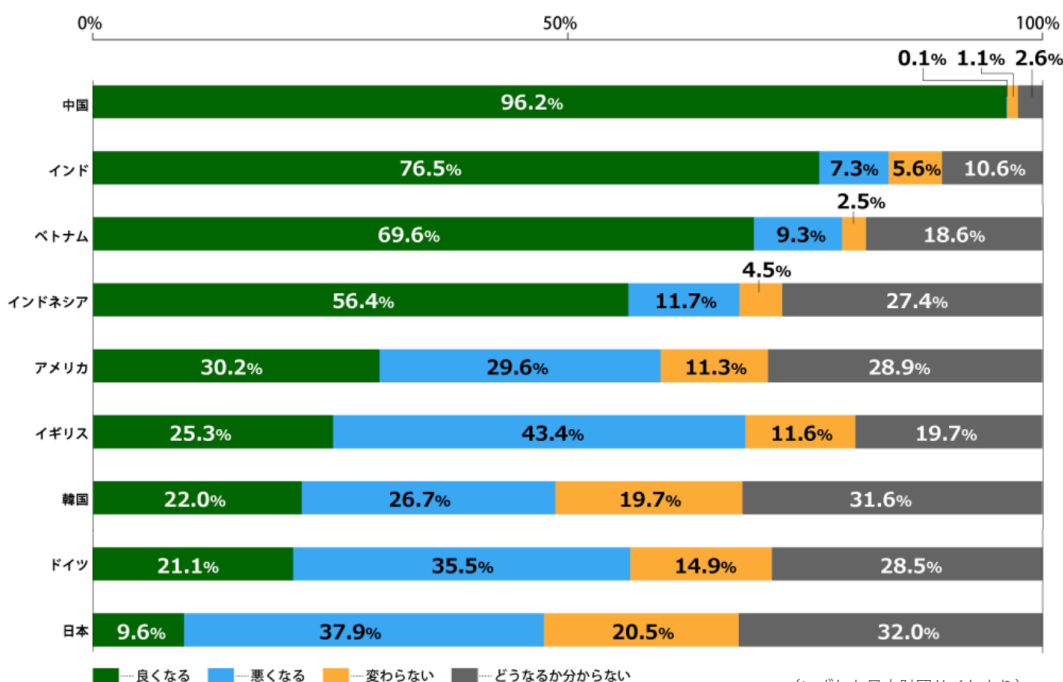
子育て支援団体である当法人としても、今後、より根本的な問題を考えつつ、現場では提供するサービスの利用者に寄り添いつつ、一歩ずつ歩みを進めていく所存である。また、特にここ数年で拡大してきたフードパントリーには多くの方々から温かいご支援をいただいている。御支援頂いた全ての団体・個人の方々に改めて謝意を表する。本当に有難うございました。今後とも、よろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人みんなで子育てドロップス 理事長 駒宮博男

【世界各国の18才の意識調査】（日本総研、2019年）



Q. あなた自身について、お答えください。（各設問「はい」回答者割合）



Q. 自分の国の将来についてどう思っていますか？

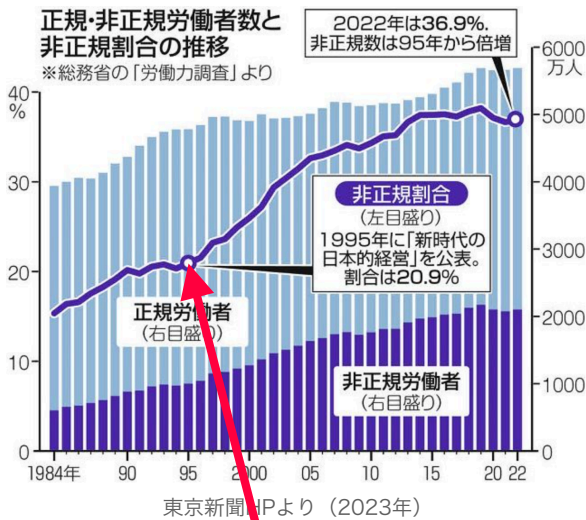
（いずれも日本財団サイトより）

目次

	page
1 格差拡大が各事業にもたらす影響	3
2 恵那市ファミリーサポートセンター事業	7
3 子育てフードパントリー事業	10
4 相談業務・学習支援事業	13
5 フードパントリーアンケート調査結果	15

1 格差拡大が各事業にもたらす影響

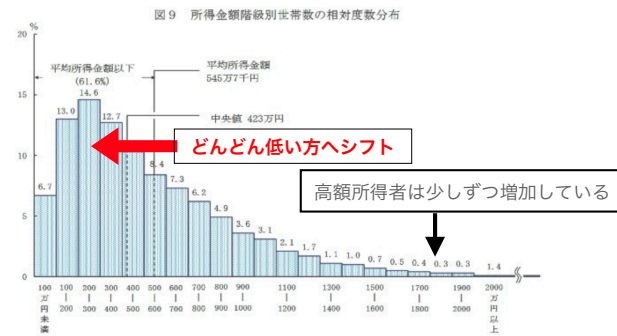
●ここ20年での格差の拡大



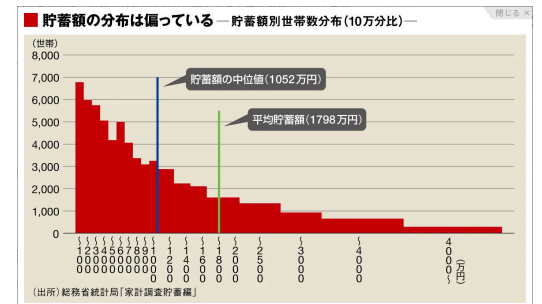
1995年が、日本のターニングポイント
「新時代の日本の経営」とは・・・
1/3正社員、1/3派遣、1/3誰でもOK

結果、こういう状態

世帯別フロー（年収）の分布



世帯別ストック（金融資産）の分布



東洋経済オンラインより

日本の雇用状況は、1995年大きく変わった。それ以前の「終身雇用・年功序列」から、正社員が大幅に減少し非正規労働者が増加することとなった。それに伴いリストラの嵐が吹き荒れ、20世紀末より自殺者が急増した。

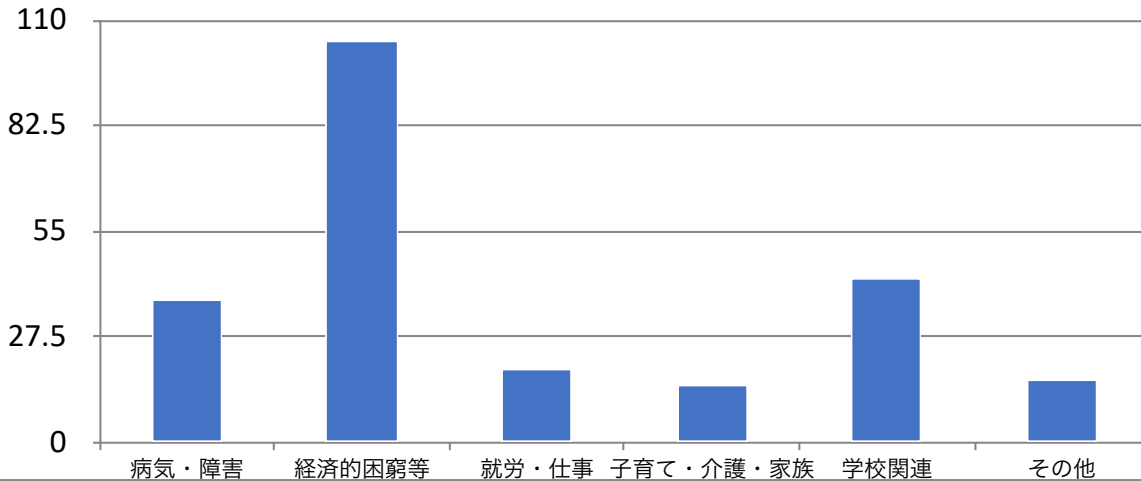
世帯別所得チャートは、高度成長期のいわゆるベルカーブ（正規分布）型からグラフの山が右にシフトするようになり、「一億総中流」時代が終焉し、明らかな「格差社会」へと変化した。また、世帯別金融資産チャートによれば、ほとんど預貯金のない世帯、わずかしかな預貯金のない世帯が大半で、しばしば報道される金融資産の平均値（1,798万円）以上の資産保有世帯は1/4ほどに満たない歪な社会に変貌した。なお、このチャートのように左に大きくシフトした分布において、「平均値」は全く意味をなさない。

このように、今、国民生活において最大の問題は格差の拡大であり、このことが子供・子育て環境に大きな影響を与えている。

当法人が設立した19年前に比べ、極端な少子化（年間出生数：約420人から150人台へ）と格差の拡大という社会環境の変化は、事業内容そのものを再考せざるを得ない状況を生んでいる。

●主にフードパントリー利用者が抱えている問題 (R6/4の対面調査(約80名)をもとに作成)

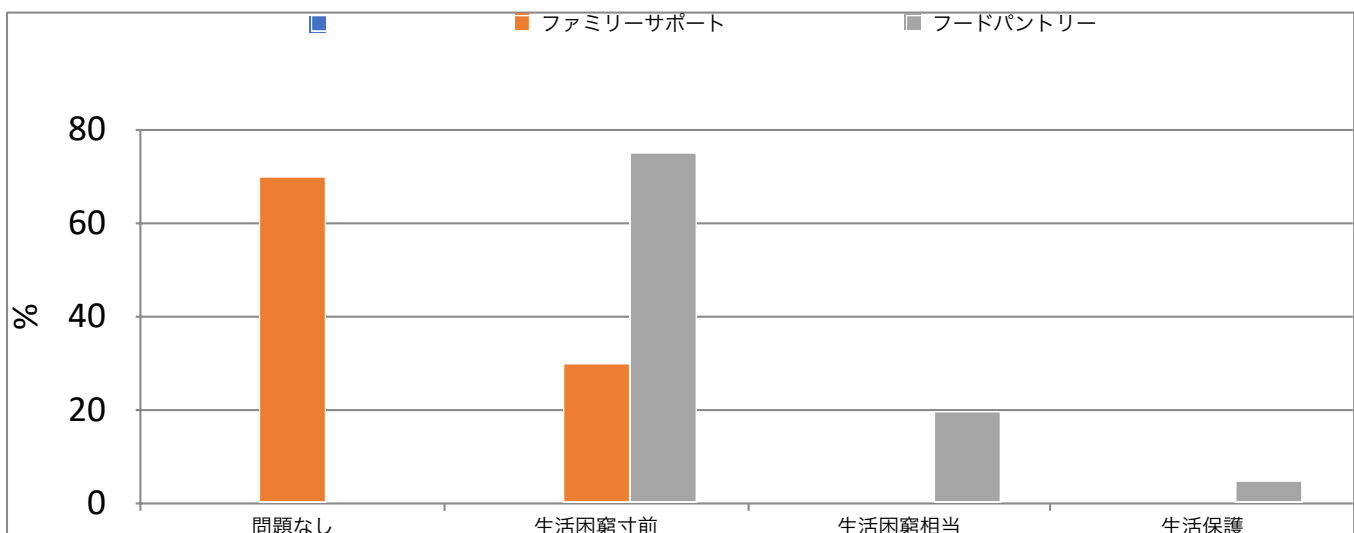
■ 抱えている問題 (項目により複数回答あり)



このチャートは、令和6年4月のフードパントリー時に行った対面調査を元に作成したものである。約80名の利用者が答えてくださったデータを集計したもので、縦軸は%を表している。なお、「経済的困窮等」が100%を超えているのは、複数の項目(住居・家賃・経済困窮・債務)を足しているためである。学校関係の問題(学校・友人・引きこもり・不登校)を抱えている世帯も多いことがわかる(合計で、43%)。

今回の対面調査は、多くの利用者が様々な種類の困窮状態を抱えているのではとの現場感覚から、試験的に行ったものである。実際に面談してみると、今抱えている問題を自発的に答えてくれる利用者もいるが、あえて答えないようにしている利用者も多く、対面での調査の限界を感じた。今回の対面調査の後に、しっかりとした相談業務につながるというシステムがない限り、利用者にとって重大な個人情報を開示することは困難であろう。

●ファミリーサポート・フードパントリー利用者の実態イメージ



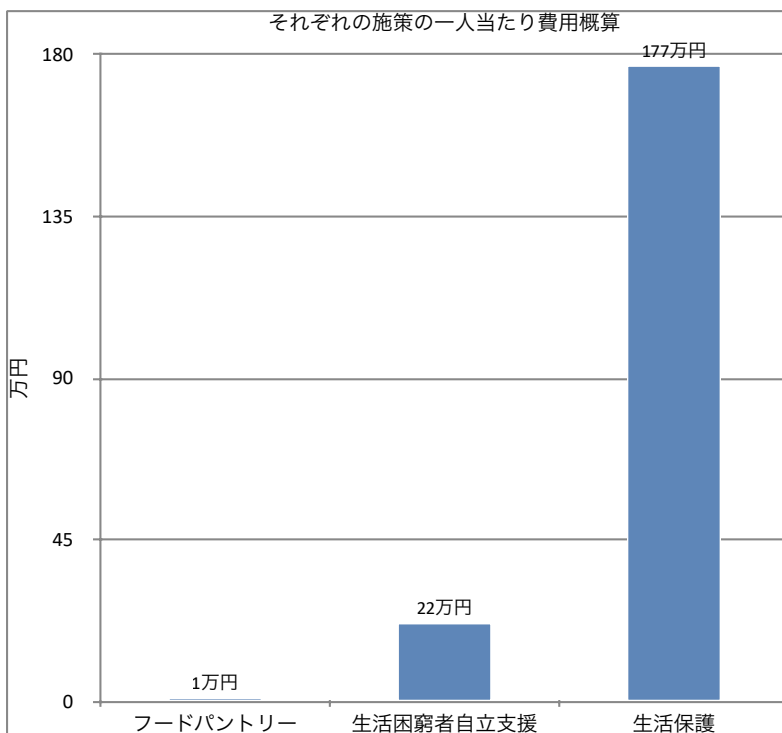
このチャートは、現在のファミリーサポート、フードパントリーの利用者をイメージしたものである。元々ファミリーサポート事業は子育て中の女性の社会進出等をサポートするものであったが、近年の利用者には様々な生活困窮を伴ったケースが増加している(母親の精神疾患、障害等に伴う幼児の預かり等)。

また、フードパントリー利用者は、原則的にひとり親世帯を対象としており、そもそも何らかの経済的困窮を伴っている。フードパントリー利用者の中には、生活保護受給者も存在する。この事業は、できる限り水際で生活困窮者自立支援相談や生活保護に至らないよう、一歩手前で「食」というツールを用いて軽い「セイフティ・ネット」の役割を果たしているのではないだろうか。

当法人のスタッフの数人は、かつて「生活困窮者自立支援相談事業」のモデル事業から数年関わっており、よほどのつびきならない状況に至らない限り、多くの困窮者は相談に来ないことを身をもって経験している。それに比べ、フードパントリーは敷居が低く、多くの困窮者が利用しているのではないだろうか。

●フードパントリー・生活困窮者自立支援・生活保護

一人当たり費用概算



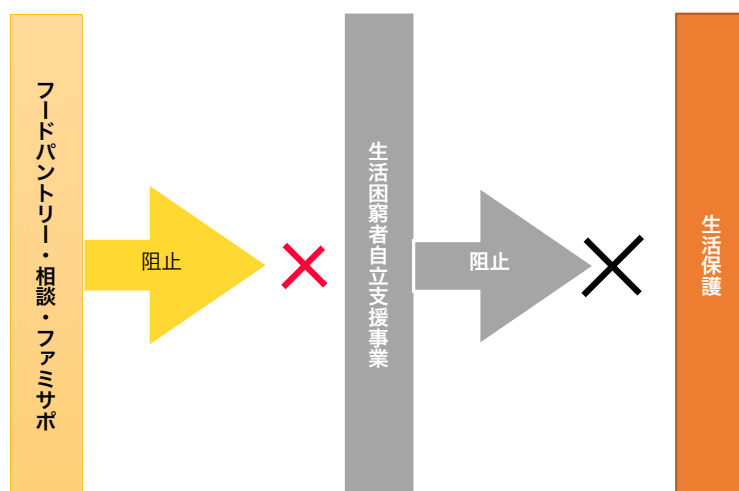
- ・フードパントリー等（ドロップス）
 予算：120万円/100人
 → ほぼ、1万円/人
- ・生活困窮者自立支援
 予算：3,577万円
 → ほぼ、22万円/人（全国平均）
- ・生活保護（恵那市）
 予算：17.4億円/1,010人
 → ほぼ、177万円/人（全国平均）

上のチャートは、当法人の行っているフードパントリーを中心とする事業、恵那市の行っている生活困窮者自立支援事業、生活保護事業の、利用者ひとり当たりの行政コストを示している（生活困窮者自立支援事業、生活保護事業の数値は市の予算額と全国平均）。

日本人は公的なサービスを受けること自体「恥」であるというマインドが未だ強く、生活困窮者自立支援事業、生活保護事業双方とも実際の利用者は困窮者の氷山の一角であろう（生活保護捕捉率は約20%（厚労省））。これらに比べ、食料支援は比較的敷居が低く、3年前に20世帯から始まった食料支援利用者はすでに登録数140世帯を超えている。その多くは自発的に相談を要求しないものの、困窮していることは間違いない。この段階で何とか相談に応じることが出来れば明らかに行政コストは軽減できるのでどうか。

メディアの報じるところによれば、令和5年度、生活保護申請件数は過去最大であった。

●これからのファミリーサポート・フードパントリー等の位置付け



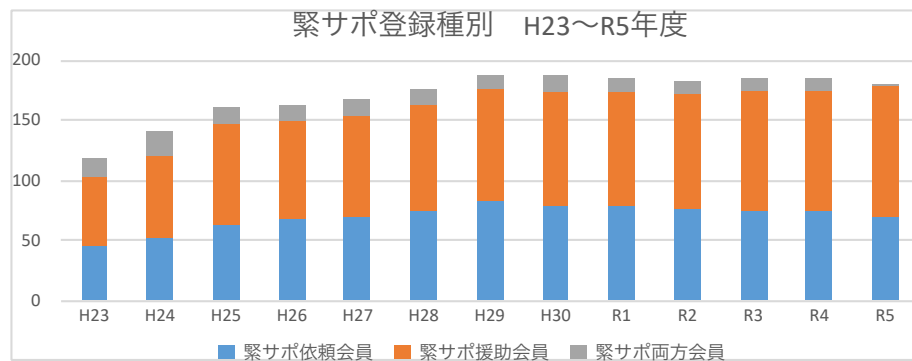
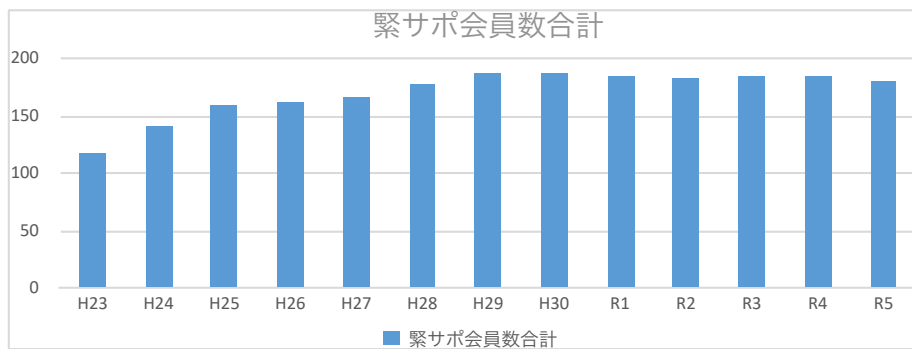
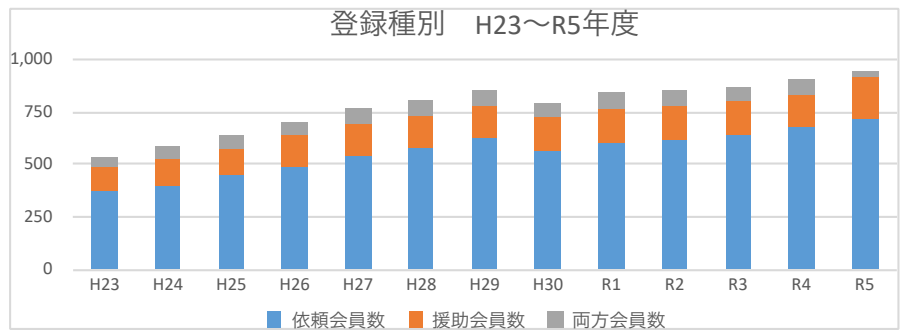
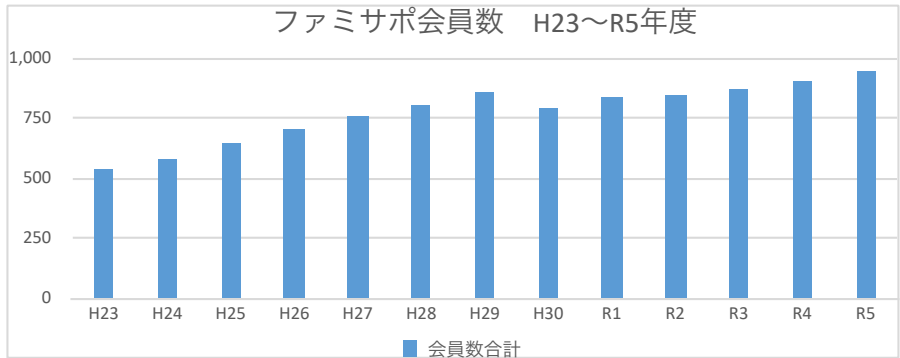
当法人が行ってきたファミリーサポート、フードパントリー、学習支援、相談事業等は、生活困窮者相談窓口、生活保護へと移行しないように阻止してきたと言えるかも知れない。

今後は、当法人の各事業と、様々な福祉・教育・子育て施策、生活困窮者自立支援事業・生活保護等々とのシームレスな連携が必要であり、情報共有をはじめとして、関係セクションとの更なる連携強化が必要となる。

2 恵那市ファミリーサポートセンター事業

- ファミリーサポートセンター開設日数 : 年間 243日
 - 早朝と夜間、土日祝日の365日は携帯電話に転送。着信送信合わせて139件対応

- 活動内容と会員数等
 - 会員数945名、活動件数511件、延べ活動時間数988.5時間
 - 事前打ち合わせ145件（うち15件が土日祝日の打合せ）



●活動保険への加入

「地域子育て支援補償保険」・「研修・会合傷害保険」・「お見舞金制度」に加入

●付随する事業

- ミニ交流会
6/19『多肉植物の寄せ植え』依頼会員を中心に援助会員も参加
7/10『おしゃべり会』援助会員
3/19『新補助金制度説明会&おしゃべり会』援助会員
- 専門家会議・・・(9/28)木point研修室にて
続『子育て中の親子を地域で支える』
～援助会員の確保について
- 県ファミサポ従事者意見交流会出席
各センターの取り組みや課題などを共有した。
- 「えなっ子育てサポーター研修」を実施(詳細はチラシにて)
感染対策のため映像視聴による講座を行って来たが、本年より講師と直接対面する講座に戻した。日程は不便になったが直接受講できるのは意欲につながるようであった(11/24,29,30、12/1の4日間、計24時間)。
参加者25名(既会員のスキルアップを含む)
全講座を修了された受講者5名
救急救命講習修了者 11名
- 会員登録
基本はお子さんと一緒にセンター事務所に来ていただくようお願いしている。体調などがすぐれない方や車の運転ができない方など、個別に登録希望者のニーズに沿うよう、依頼会員宅や子育て支援施設に向向いて対応した。
説明会の時も希望があればその場で登録を受け付けた。

●広報活動

- ホームページに利用方法・会員サポート・研修案内などを掲載。
- ファミサポ通信を発行し、会員への活動の計画と報告を行う。
- 広報紙掲載
広報えな・シルバー人材センターお知らせ・あけち福祉だより
- 子育て支援関係の会議などに出席し、ファミサポの周知を図る。
(子ども子育て会議・民生委員会など)
- 恵那市のキャラクターを入れたファミサポステッカーを制作・配布
- 出張説明会
本年度から新たに土曜日の説明会や児童センターでの説明会を実施し、ファミサポ事業への理解と登録・利用を促した。
コロナ禍で休止していた4ヶ月健診での説明会も再開した。
毎月第1土曜日 こども元気プラザ(8月より)
5月 大井児童センターコロコロ入会式 2回
毎月の4ヶ月健診(1月より再開)

●ファミサポスタッフ会議 毎月1～3回 年間24回実施。

●ファミリーサポートセンター等広域推進連絡会議 ZOOMでの会議参加(2ヶ月に1回 年間6回開催。)

●その他の関連事業

当団体が行っている、子どもの居場所等相談機能強化事業や子育てフードパントリー事業と連携することにより、さまざまな事情のご家庭に寄り添った活動を行えた。各事業で学んだことが職員のスキルアップにも繋がった。

●活動のまとめ

- 新型コロナウイルスの第5類移行にともなって活動が増えてきた。
12月頃からインフルエンザと新型コロナウイルスが同時に流行しキャンセルも多かった。
- 前年度活動の多かった障害児通所施設を利用できない未就学のお子さんの預かりや、保護者の仕事の時の未就園児の預かりは、対象児童の入学・入園により約200件減少した。
- 本年度多かったのは園までの送迎。精神疾患のあるひとり親家庭の登園率をあげるサポートや、母親が車を持っていない発達障害の児童の降園サポートなど、スタッフが援助会員として送迎を行った。約200件。
- 第三子以降の48時間分利用料減免は2年目。
前年度 登録 27名 利用27名 利用件数 181件 利用時間 387時間
本年度 登録 48名 利用29名 利用件数 192件 利用時間 369時間
「働いていないので利用するのは申し訳なかったが、無料ならお世話になりたい気持ちもある。」という声があった。
頑張らずに気軽に利用いただきたい。
- 祖父母の家に一時的に住んでいる児童の活動も例年より多かった。
 - ・多子+多胎児で育児の助けを必要としているご家庭
 - ・実家の荷物整理など転居までの準備
 - ・里帰り出産

●課題

- 本年度より明智福祉センターでお部屋を借りられるようになったが、予定の合う援助会員がおらず元気プラザでの活動になった。中野方での活動もスタッフが援助会員として出向くことが多かった。郡部の援助会員を確保する必要がある。
- 最近の育児グッズの使い方を援助会員に紹介する。
- 事故防止・防災・緊急時の対応マニュアルなどを整える。
- 利用料金が低すぎて会員や支援者から心配の声が多数あがっている。
- **ここ数年、不登校、知的障害、学習障害等、子どもが抱える問題に加え、離婚、精神不安定、生活困窮等、親が抱える問題が、ファミリーサポートの現場でも目立つようになった。今後は、市役所・市社協等と、より有効な連携と役割分担が必要と考えられる。**

3 子育てフードパントリー事業

●フードパントリー会議 : 1回/月

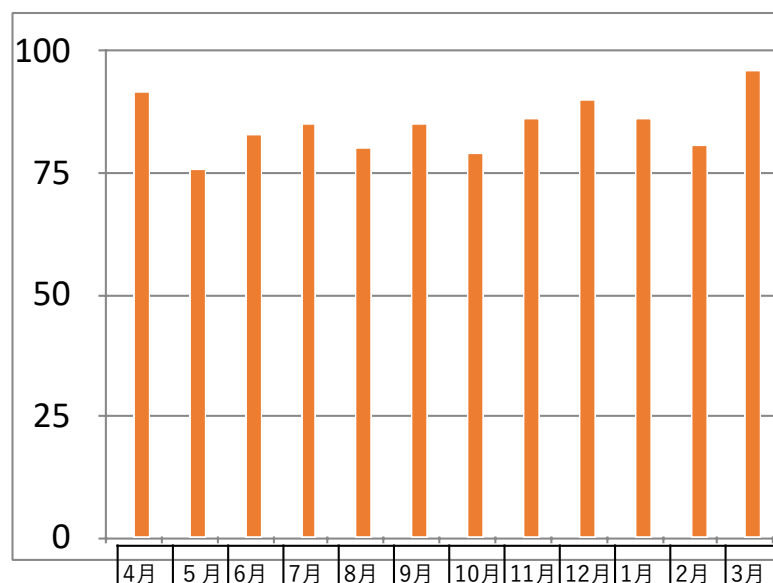
●ラインの充実

有料の公式ラインを開始することにより、これまでと比べ格段の情報量を提供することができるようになった。
公式ラインには、子ども食堂関係者、県・市・社協等の行政担当者も参加しており、行政情報の拡散にも役立っている。

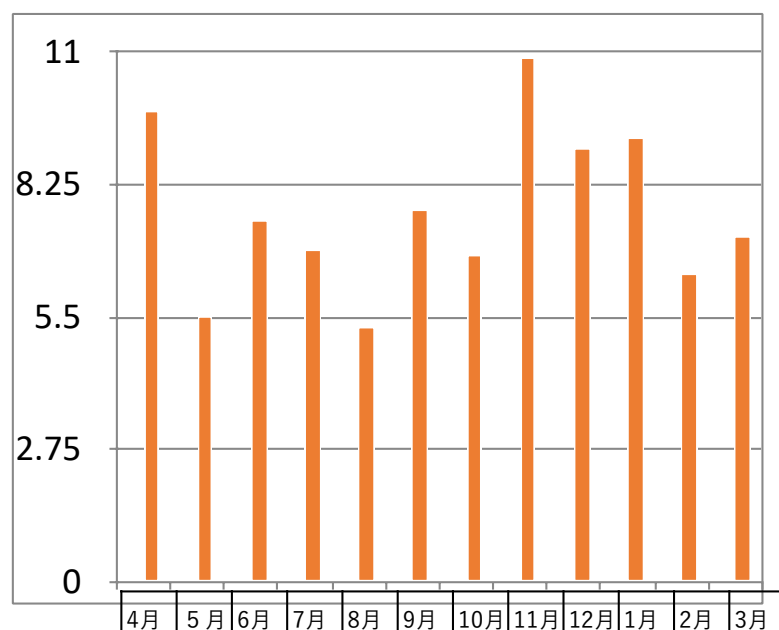
●農業体験等

長期目標として、少しでも利用者自身が食料時給ができるよう、近隣の農家に農地を借り、利用者と野菜作りをしている。
中津川市下野の農業法人の指導で、さつまいも、大根等の収穫、収穫物の提供を行っている。

●参加世帯数

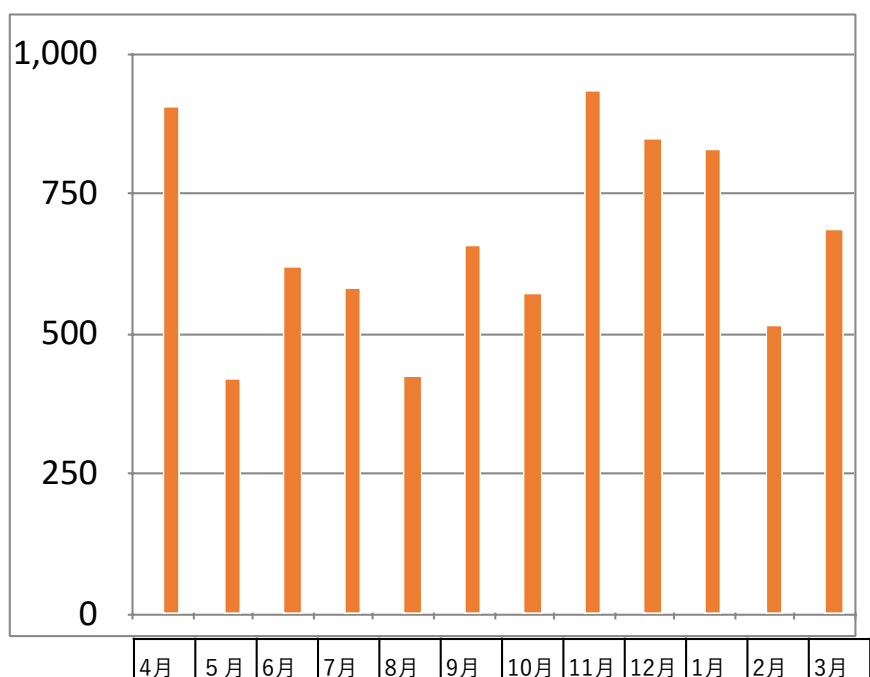


●一世帯当たりの配布量 (kg)



毎月の食料提供量には、残念ではあるが大きな開きがある。この開きは、隔月の食料寄付の量のばらつきが主な原因である。基礎的なものとして、お米は必ず提供できるよう考慮している。これはアンケート調査からも分かるが、お米の提供を多くの利用者が望んでいるためである。

●月毎の配布総重量 (kg)



●寄付食品 (回数、総重量 (kg))

寄付食品のまとめ	2023/4～ 2024/3	
	回数	計 (kg)
個人	33	580.6
トモファーム	13	525.4
グローバルハム	9	124.9
JAひがしみの婦人部	4	73.2
ファミリーマート	16	52.9
市内量販店	11	186.4
市内量販店	1	5.5
市内量販店	12	161.3
丸河商事 (株)	2	270.0
岐阜米穀 (株)	3	69.5
吉野家	12	468.0
銀の森	3	250.4
王将フードサービス	4	103.6
アサヒ飲料	3	36.4
コープぎふ	12	330.1
日本非常食推進機構	6	291.7
フードバンク愛知	2	645.6
農事組合しもの	2	148.6
岐阜県社会福祉協議会	12	317.5
恵那市社会福祉協議会	8	318.8
恵那市役所	3	622.0
農林水産省	1	450.0
合計		6,032.4

年間6トンもの食料を、個人・企業・各種団体からご寄付頂いている。
ご寄付を頂いた方々、本当に有難うございました。

●食品以外のご寄付頂いた日用品等 (kg)

2023年 食品以外の寄付等				
月日	寄付者(個人・団体)	品名	重量	備考
4/18	市内量販店	マスク	2.3	22箱
5/1	岐阜県社会福祉協議会	カプセルトイ	6.0	100個
5/30	匿名	タオルなど	0.5	8種類
6/12	市内量販店	子ども用マスク	0.1	7枚入り4袋
6/14	岐阜県社会福祉協議会	トイレットペーパー	1.4	4個
		ティッシュペーパー	1.1	5箱
		アルコール除菌ウエット	1.8	10袋
		ハンドソープ	0.2	詰め替え1袋
		マスク	0.2	10枚入り5袋
7/11	岐阜県社会福祉協議会	鉛筆・消しゴム 団扇	0.3	24本、12個
8/14	岐阜県社会福祉協議会	さわやかマスク	7.0	240袋
		プラスチック定規	0.1	10個
9/15	ファミリーマート	洗剤	1.6	3個
2/7/24	フードバンク愛知	タンブラー		
2/14	岐阜県社会福祉協議会	鉛筆		
2/19	恵那市社協大井支部	市指定可燃ごみ袋		80袋
3/13	フードバンク愛知	トイレットペーパー	20.7	8ロール×15
		ジッパーバック	2.8	30袋入り×15
		フライパンホイル	1.3	15本
		ティッシュペーパー	9.9	5個入り×15
		台所スポンジ	0.4	3個入り×15
		食品保存ラップ	2.7	15本
		食器用洗剤	4.2	15個
		キッチンポリ袋M	3.8	150枚入り×15
		合計	68.2	

●ご寄付頂いた方々

<寄付金>			(円)
6/9	藤公雄	寄付金	50,000
10/10	(株) 藤石材	寄付金	50,000
10/20	匿名	寄付金	5,000
1/10	恵那市社協大井支部	寄付金	30,000
2/28	岐阜県社会福祉協議会	JCBギフト券	10,000
		合計	145,000

●助成金

<助成金>			(円)
	むすびえ	2023.9~2024.1	1,000,000

食料以外にも、様々な日用品等を、個人・企業・各種団体からご寄付頂いている。
また、寄付金としても年間145,000円頂戴しており、主に保存が困難な卵等の食料調達に使わせていただいている。
ご寄付を頂いた方々、本当に有難うございました。

4 相談業務・学習支援事業

●カテゴリー別相談件数（世帯数）

	A	B	C	D	E	F	G
	相談世帯数	Aの世帯の子どもの数	Aのうちパントリーに入っている世帯	パントリーに登録している世帯	Aのうちアウトリーチ（訪問）した世帯数	Aのうち関係機関につながった世帯数	Aのうち関係機関から紹介された世帯数
総数	52	71	28	161	11	1	11
内市外	6	10			1	1	1
					2024/3/31現在		

●学習支援事業

2023年度学習支援		
学習支援日	生徒	先生・スタッフ
4月	10	11
5月	8	8
6月	6	6
7月	8	8
8月	8	3
9月	3	4
10月	8	27
11月	11	4
12月	3	4
1月	6	8
2月	4	4
3月	6	8
合計	81	95

当法人の学習支援はまだ試験的なものである。また、「学習」を支援するというよりは、子供の成長過程で一人でも多くの大人が関わること、家庭以外の居場所を提供することを目的としている。もちろん学習の支援も行っているが、子どもも参加するちょっとしたお菓子やスナック作り等を毎回行っている。

現在は市役所の紹介者を主に支援しているが、今後少しずつ参加者を増やそうと考えている。ただ、固定した「場所」を必要とするため、どうしても事務所周辺の子どもが対象となってしまう。広い恵那市全域を網羅するためには複数拠点を持つこと、あるいは他団体と連携する等の方策が必要となる。

●個別相談内容（取扱注意、一部削除）

主たる相談、支援内容	形式	連携先	期間
離婚調停後の子供の送迎等	面談、資料提供等	弁護士、女性労働協会等	2021/10だけ数回
子供の引きこもり、日常生活支援 親+子ども3人の包括的支援（学習支援、パントリー等）	訪問面談、メール	市、極楽食堂、精神科 社協	2021/10～継続中
二十歳の子どもが扶養控除の対象になるか、資料提供	電話	行政には情報漏らしてほしくない	2021/3電話のみ
傾聴のみ（近所の方が子供に嫌がらせ（被害妄想））	電話		2021/11のみ
生理用品（パントリー）	面談		2021/11のみ
妻がネグレクト（子ども4人）、本人は某病院相談員	面談	市（子育て支援課）	2021/11のみ
精神2級、派遣切り、仕事探し、パントリー	面談	中津川市	2021/12～継続中
親の虐待、若者支援（パントリー）	面談	元子相職員	2021/11～2022/5
親の虐待、若者支援（パントリー）	面談	元子相職員	2022/2～継続中
一宮から転入、延長保育申請支援、受理、ファミサポ各種 学習支援、パントリー	面談		2022/4～2022/5
学習支援、パントリー	面談	市（子育て支援課）	2020/4～継続中
高校入学で終了	面談		2020/11～継続中
経済的困窮・子供、離婚調停中（夫外国人）、ADHD等々 パントリー	面談	瑞浪市、精神科、DV被害者の会 多治見市民病院	2016～2022/3
娘が精神科入院退院繰り返す、パントリー	面談	市（子育て支援課） 某学童、精神科	2022/7～継続中
中2の娘の不登校、妻外国人	電話		2022/8～2022/10
種々の相談	面談		2022/9～継続中
4子が不登校、市内某所から引っ越し・転校、夫と別居 経済的困窮、パントリー、ファミサポ登録	面談	市には何度も相談した	2022/9～継続中
大井に引っ越し、高校入学（私立高校推薦）で終了	面談		2021/8～2022/3
種々の相談	面談		2022/10～継続中
本人精神2級、経済困窮、パントリー、受験生の学習支援	面談	社協（家計相談）	2023/2～継続中
HPでパントリー知るが遠方で不可、岐阜市の支援先教える	電話		2023/2電話のみ
パントリー、生活困窮のため、米の追加支給	面談		2023/3～継続中
子ども4人、生活困窮、パントリー	面談	市（子育て支援課）	2023/3～継続中
子ども4人、生活困窮、パントリー、ファミサポ登録	面談	市（子育て支援課）	2023/3～継続中
精神（手帳まだ）、生保決定？	面談		
夫妻とも外国籍（出血あり） パントリー	面談	市（子育て支援課） 保健センター	2022/11～継続中
ファミサポ会員、娘が安心できる居場所、大湫病院入院	面談	精神科	2022/10～継続中
高校受験の数学を英語で指導	面談	国際交流協会	2023/8～継続中
高校受験の数学を英語で指導	面談	国際交流協会	2023/8～継続中
収入・生活費、子育て・介護	電話	福祉団体	2023/8 電話
叔母の介入	面談		2023/10 1回のみ
学習障害の息子（21）の就職決まらない	電話	中津川福祉団体	2023/10～継続中
夫7/11逮捕。家計困窮、息子ADHD等	面談等		2023/10～継続中
英語で数学（ピザが取れてから）	面談	国際交流協会	2024/2～継続中
福祉施設住人、子供の小学校送迎	面談	市（子育て支援課）	2024/2～継続中
息子が支援学校卒業後進学できず	電話	恵那エール	2024/2～継続中
パントリー、精神不安定、子供食堂利用	電話	パントリー離脱後、再度	2021～継続中

- 継続中の案件が多い
（相談案件が増加するほど、相談回数がどんどん増加する！）
- パントリー、ファミサポ等事業から連動する相談が多い
- シングル（表にはないが）を原因とする、子どもに関する相談・生活困窮が主な相談か？
- “生活困窮者自立支援相談”と考えられる相談案件が多く、本来は、社協がやるべき案件が多い？
（もしドロップスでこのような案件を引き受けるなら、スタッフのスキル強化が必要？）

5 フードパントリーアンケート結果

●利用者の居住地域（利用者リスト分析）

地域別利用者		世帯数(6/5/1)	対世帯数%	
大井町	41	5,348	7.67	大井、長島中心
長島町	32	3,788	8.45	
三郷町	7	861	8.13	笠周地区、恵南地区等
武並町	4	1,118	3.58	
東野	3	631	4.75	
笠置町	1	433	2.31	
中野方	0	542	0.00	
飯地	0	241	0.00	
岩村町	3	1,807	1.66	
山岡町	3	1,466	2.05	
明智町	7	1,945	3.60	
上矢作町	2	687	2.91	
串原	0	298	0.00	恵那市以外の利用者
中津川市	15			
瑞浪市	4			
土岐市	1			
その他市外	2			
(合計)	125			
<参考>				
恵那市の子育て世帯（18歳以下の子ども）		3,634		
子どもの数		6,495		

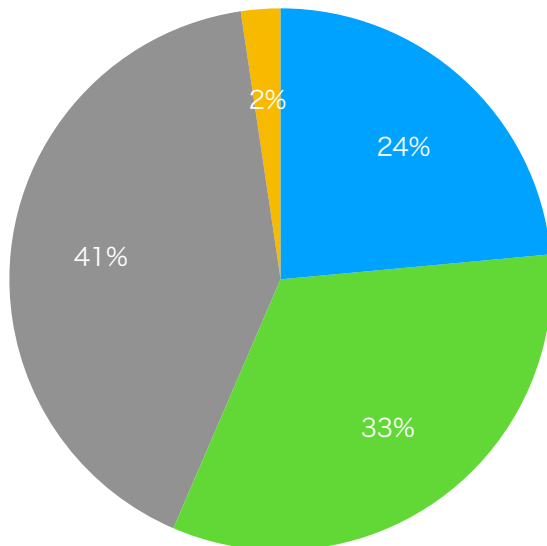
現状の利用者は、大井、長島中心である。三郷の利用者率が高いのは、スタッフが居住し学童保育に広報したためか。

今後、笠周・恵南等へどのように広報していくか、また、それらの地域に如何にして拠点を整備していくかが課題となろう。ただし、居住地の近くでの食料配布が望ましいかというところでもない。顔が知れている居住地域ではない他の地域で食料配布してほしいという声もある。さらに、恵那市外の利用者に関してどのように対処していくかも課題である。現状では、特に中津川市（行政、社協）からの要望が多く見られる。

●利用者の経済状況

1) 利用者の経済状況

● 赤字・借金 ● 赤字・貯金取り崩し ● ギリギリ ● 黒字・毎月貯金

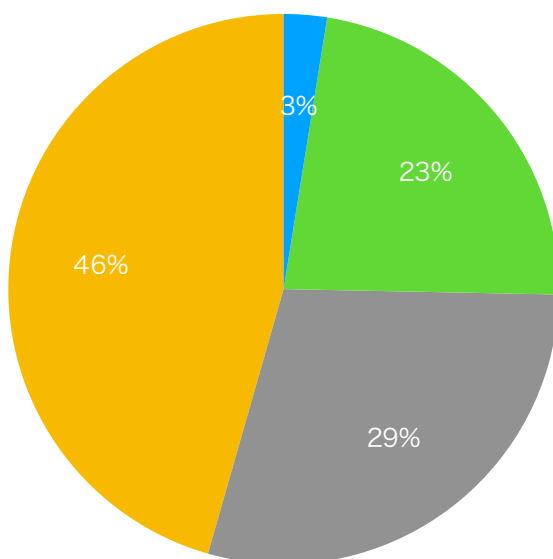


利用者の中で毎月貯金できている世帯はわずか2%。「赤字・借金、貯金取り崩し」は合わせて57%である。最近の物価高騰、特に食品の高騰は、経済弱者の日常生活を確実に脅かしている。円安の影響も含め、食料費・燃料費等日常生活に不可欠な商品の高騰は今後も続くだろう。と同時に、コロナ禍が一応集結した後、中小零細企業に対する雇用調整助成が終結し、雇用状況は悪化しているという話もある。

今後このような状況が長期化すれば、経済的困窮に陥る世帯は増加こそすれ減少することは考えにくく、子供・子育てにも大きな影響を及ぼすだろうと予想される。

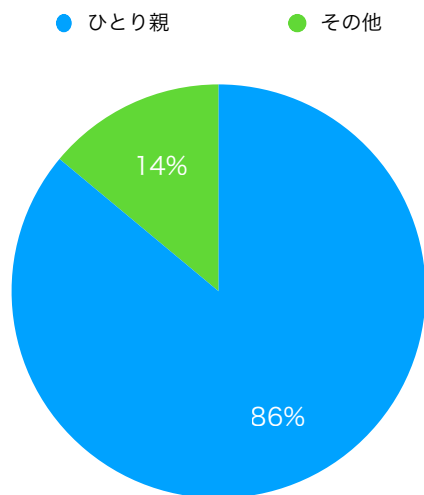
2) 利用者の公的支援利用率

● 生活保護 ● 非課税 ● 就学援助 ● その他



生活保護に至らずとも、公的支援を受けている世帯が利用者の54%を占める。子育て世帯に対する経済的支援は、「子育て先進地域」を標榜するなら必要不可欠な施策であろう。

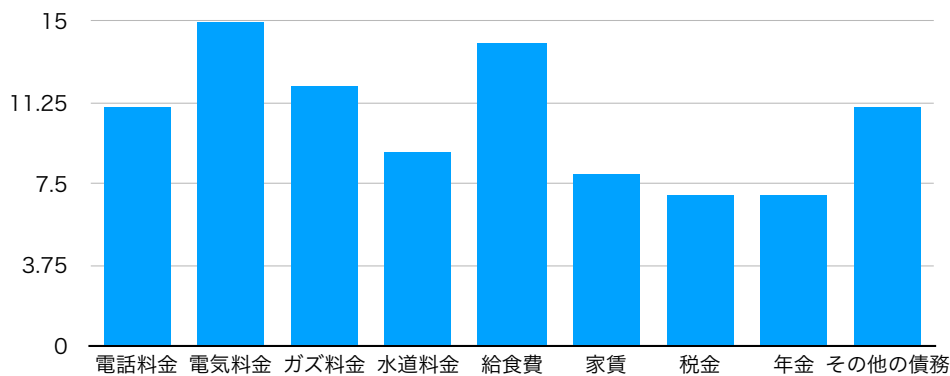
●利用者のひとり親世帯率



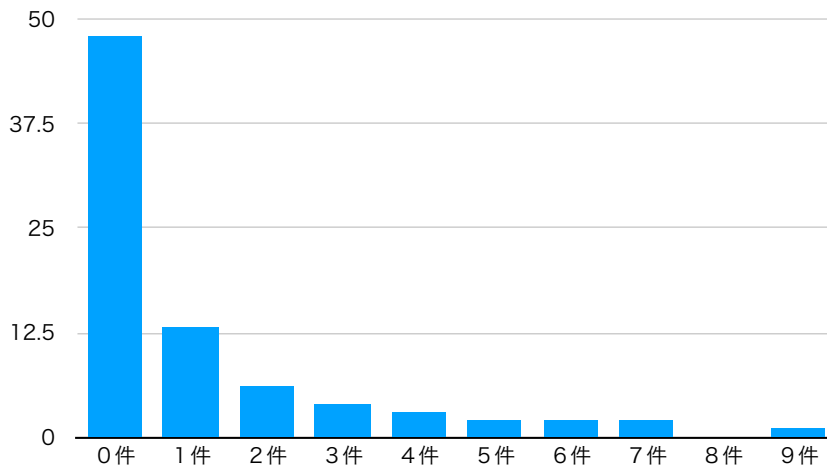
利用者のひとり親世帯率は100%ではない。ひとり親世帯でなくとも、入会登録時に生活困窮が判明すれば利用していただくようにしている。生活困窮による食料配布希望世帯は増加傾向にあるように思われる。

●利用者の公共料金未払経験率

1) 種々の公共料金未払経験率

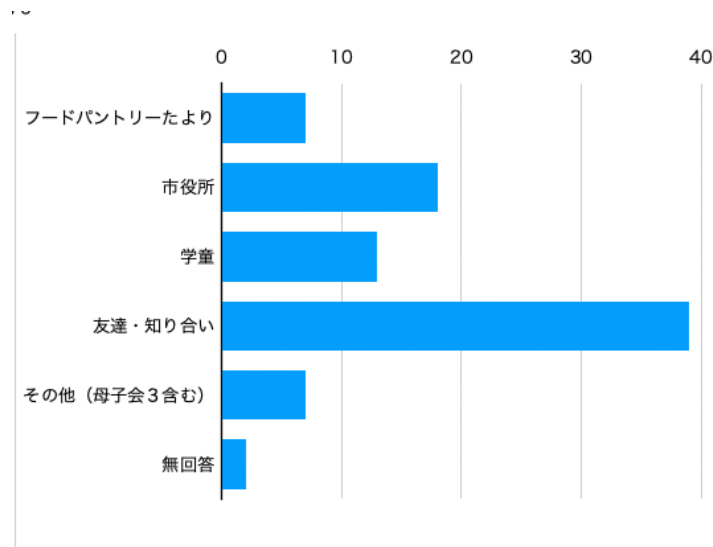


2) 何件の公共料金未払経験があるか



過去1年の間での、利用者世帯の公共料金未払経験率はかなり高い。子育て中に電気やガス、水道が止まることが日常生活にどのような影響を与えるか、想像しなければならない。2) のチャートは、1世帯で何件の未払経験があったかを示している。複数の公共料金を同時に未払いにすれば、日常生活は不可能となるだろう。

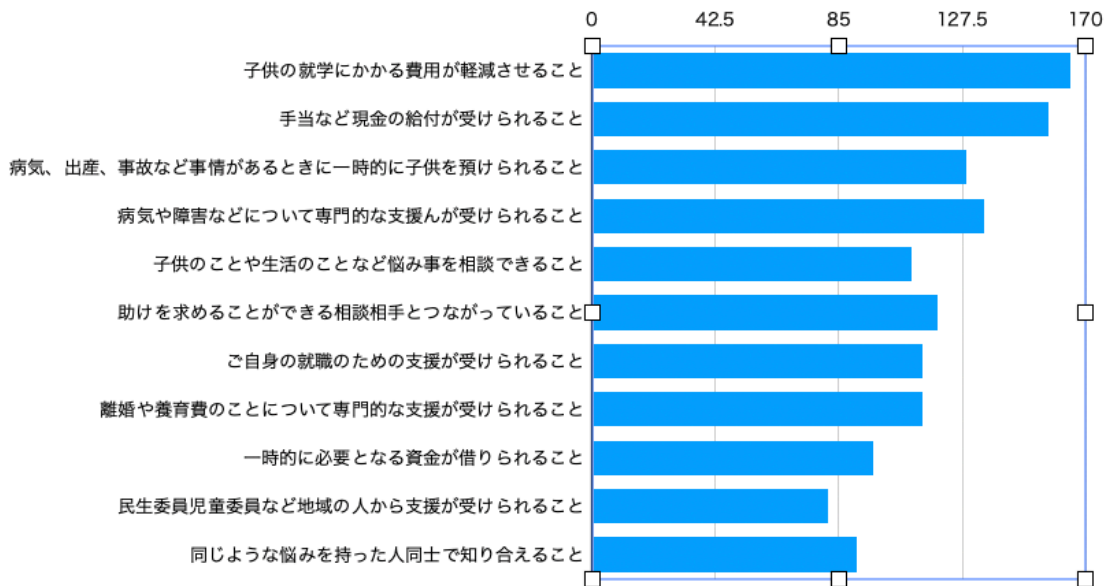
●フードパントリーをどのように知ったか？



フードパントリー開始時にはわずか20世帯ほどだったが、現在125世帯（子供が18歳を超えれば原則退会となる。これまでの登録者総数は160世帯程）まで急増したため、マンパワーが追いつけず積極的な広報は控え気味である。「フードパントリーだより」は、各支所・コミセン、学童等には配布しているが、実際には「友達・知り合い」から情報を得た利用者が圧倒的に多い。続いて市行政からの紹介、学童からの情報入手となる。

今後更なるニーズの拡大があるとすれば、広報に力を入れ、マンパワーを強化せざるを得ないだろう。

●今後、どのような支援を必要と思うか？



このチャートの横軸数値は、それぞれの項目の答えに「重み付け」をして計算された数値である。具体的には、「必要」から「不必要」まで5段階の選択肢が用意され、それぞれのポイントを2,1,0,-1,-2として集計した。

結果から、就学にかかる経済負担軽減希望がトップで、民生児童委員等地域の人からの支援が最下位であった。希望する支援の多くは経済的なものだが、専門的相談支援を望む回答も一定以上あることが明確となった。

	自由記述 (原文そのもの 紙面と都合で一部削除)	カテゴリー	
専門的支援	子供の修学、妻の疾病に関する支援	学費、疾病支援	
	片親だけのお金の支援ではなく、両親のお金の支援もしてほしい。	両親支援	
	中津川もフードパントリーをやってほしい。	中津川でも食料支援ほしい	
	土日祝の預かり (保育)、学童	子供預かり	
	習い事	学費 (習い事)	
	職場が変わった等や、病休になった時、一時的に借りられる資金があると良いと思います。	一時的資金	
	子供の進学などについての相談	進学相談等	
	習い事の支援があると、好きなことをやらせてあげられます。	学費 (習い事)	
	手続き不要で自宅に届けてくれる	食料宅配	
	悩み相談やメンタルやカウンセリング、奨学金など子供の進学の支援	心理相談、奨学金等進学支援	
	子供が就学していくので、その辺のバックアップがあると嬉しいです。	学費	
	子育てや将来のお金に関して。	学費等	
	些細なことでも気楽に話せるような場所。	居場所	
	非課税じゃない低所得の家庭にも給付金等の支援が欲しい。	低所得者給付金	
	資格取得の支援、高校進学後の資金援助	資格取得支援、高校学費支援	
	子ども食堂は、究極的に助かると思います。	子ども食堂	
	子供の長い休み等の給食やお弁当支援、中学生・高校生の学習支援 (ひとり親、低所得世帯の)	長期休暇時子供の昼食、 中学高校の学習支援	
	困ったこと	給料内では生活が苦しい (お金が足りない) ので、特に食費のやりくりで苦労しています。	食費で苦労
		借金が滞ってしまっていること、債務整理をして遅れが出てしまうこと。	債務整理
毎月の決まった額にプラスで病気や怪我等の出費が増えたとき、食費の根がかなり高くなっているの食べ盛りがいると幸せなことですが大変です。		病気等想定外出費があると大変	
収入より支出が多いこと。		収入より支出大	
カードローン (離婚してすぐ生活費が必要だったので)		離婚でカードローン	
生活にかかるお金は増える一方で働いたら税金が上がってしまい生活に使えるお金が増えない。		可処分所得が増えない	
貯金は全くできてません。カード支払いを延ばしてもらったりしました。保険 (学資、自分の生命) を解約したり、学資を減らすしかなく、それでも生活しています。		貯金なし、保険解約	
コロナに感染してしまい10日間も仕事を休んでしまった。給料が出なかった。		コロナ病休で給料出ず	
給料が安くて生活がカツカツです。		生活カツカツ	
ランドセル、服代、習い事		学費 (ランドセル、習い事、服)	
車の費用が高いこと		車の費用	
物価が高い!		物価高	
高校生のお弁当作り		弁当作り	
大学の授業料、奨学金の仕組み、借りられるお金 (金額)		大学授業料	
特になし			
なんとかかんとかやっています。			
収入が不安定で、支払いが生活できなくなったとき親にも頼れずの時があったので、そこが一番困りました。		収入不安定、頼る人なし	
本当にお金に困っても助けてもらえない。		誰も助けてもらえない	
専門学校の入学金		学費 (入学金)	
コロナなどインフルエンザに私がかかってしまって仕事に行けず収入が減った時。		コロナ罹患で収入減	
子供の生活費がもらえない (一円も)。弁護士入れていても相手が財産を隠して差し押さえもできない。		養育費もらえない	
子供の服や塾。		学費 (服、塾)	
大学の学費や子供の生活費を払って貯金を切り崩している。		学費、貯金切り崩し	
借金返済と自宅子供がいて食費などが重なった時。		借金返済、経済的困窮	
誰の支援も受けられず、子供たちに食事を作った時。		支援なし	
学費を工面するのに大変でした (上の子供が在学中、奨学金等利用)		学費工面	
コロナの間は保育園に預けられない時もあり。とてもきつかったです。		コロナ禍に保育なし	
子供が食べ盛りで食費がかかる		食費	
生活面で病後時保育が地域によって出来ないことが困ったりしています。		地域により病後児保育なし	
ギリギリの収入でリボ払いが嵩んでしまったこと	リボ払い嵩んだ		

良かったこと	いつも良くしていただき、ありがとうございます。	感謝
(抜粋)	お米がもらえてありがたいです。	米
	牛丼も子供が喜んでいます。	牛丼、子供
	支援の食糧で食費が3~4浮くのでとても助かります。	感謝
	お米を食べれることがよかった。	米
	無料で受けられるので、すごく助かっています。	感謝
	食費がかかるため、色々いただけるため、本当にありがたいです。	色々
	食料も高くなってきていて同じ分買っても料金は増えたのでお米やお菓子を提供して下さって助かります。	米、菓子
	食品がもらえて助かります。特にお米。	米
	毎月食料を頂けて大変助かっています。	感謝
	お声をかけてくれる皆さんのおかげで気持ちが少し楽になれてます！ ありがとうございます。	スタッフ
	お米や食料の支援、とてもありがたいです。イベントなども都合が合えば参加したいです。	米、イベント参加希望
	牛丼が頂けること、お米も頂けること、食事ばかり、肉や魚や野菜しか買えないのでフルーツがもらえるのは本当にありがたいと思います。本当、感謝してます。	牛丼、米、フルーツ
	食費が助かる	感謝
	季節の食材、お米、毎月の牛丼、とても助かっています。	米、牛丼
	食料やマスクなど、いつも大変助かっています。ありがとうございます。	感謝
	ほぼギリギリの生活（金銭的に）をしているので、お米だったり食に関わるものをいただけて、本当にありがたいです。	米
	毎月助かっています。	感謝
	皆さんのいつもの笑顔でほっとします。食品、毎月楽しみです。助かっています。	スタッフ
	これからです。	感謝？
	食べたことのないようなものもいただいて視野が広がりました。	普段食べられないもの
	助かります。	感謝
	みなさまの温かいご支援に助けられています。本当にありがとうございます。	スタッフ
	子供たちが喜んでること。	子供
	毎月楽しみにしています。感謝です。	感謝
	色々なものが受け取れて、とてもありがたいです。	色々
	お米がもらえてとても嬉しいです。野菜もたくさんで助かります。	米、野菜
	子供が毎月楽しみにしているよ。	子供
	物価高の影響で食品が高いので助かっています。	感謝
	食料を助けて頂き、スタッフの方々も暖かく、毎月嬉しく思う。	スタッフ
	食べ物もらえるのですごく助かります。	感謝
	毎月食品を頂けて食費が助かります。同じような人が多数いることがわかり安心感があります。	感謝、同種の人たち
	いつもたくさんの食料が頂けて大変助かっています。	感謝
	ほっとできる。	ほっとする
	お米をいただけたり、いつも買ってあげられないお菓子をもらえたり、助かることばかりです。	米、菓子、普段買えないもの
	家計が苦しいので、少量でも食糧支援はとても助かっています。お菓子をもらえると子供がとても喜びます。	菓子、子供
	子供に体験させてあげられない事を体験させてあげられる（畑系の）。食費が抑えられて他に回せる。	子供畑体験
	とても助かる。	感謝
	毎月フードパントリーのおかげで食費がとても助かっています。	感謝
	食料支援、ありがたいです。	感謝
	いつもありがとうございます。	感謝
	とても助かっています。普段あげられないものが子供と食べれます	普段食べられないもの
	日常に使用できる物資で生活が大変助かっています。いつもありがとうございます。	感謝
	とても親切で、いつも配布して下さい下さりすごくありがたいです。	スタッフ
	食費の面で助かります。	感謝
	色々な助けをして頂き、生活を少しずつ立て直せたことに感謝しています。	感謝
	食料の提供がとても助かっています。ありがとうございます。	感謝
	毎月大変ありがたいです。いつもありがとうございます。	感謝
	米など、食費1回でも費用が抑えられて助かっています。	米
	お米がとても助かります。	米
	自分では買えないようなものもただで嬉しいです。	普段買えないもの
	食料配布だけでなく、家族で参加できる行事的なイベントが素敵だと思います（前回りんご狩りに参加しましたが、未だに子供たちが嬉しそうに話します）。	イベント参加子供が喜ぶ

特定非営利活動法人みんなで子育てドロップス

〒509-7203 岐阜県恵那市長島町正家613-10 木point内ログハウス

連絡先: TEL: 0573-22-9710

業務時間: 9:00~17:00(土日祝日、年末年始は除く)

HP: <http://drops.enat.jp>

《 アクセス 》



■ 中央道恵那ICから車で約15分

■ JR中央線恵那駅から徒歩30分

■ 明知鉄道東野駅から徒歩18分